

コレクション展 2018- I
コレクション・ハイライト+特集「女たちの行進」
2018年2月24日(土)～6月17日(日)

このたびコレクション展 2018- I を開催します。本展は優品を選びすぐった前半の「コレクション・ハイライト」と、「女たちの行進」と題した後半の特集展示により構成されます。

◎コレクション・ハイライト

当館のコレクションを代表するような「名品」を展示し、繰り返し鑑賞することの中で生じる驚きや楽しみを提示します。

◎特集「女たちの行進」

本特集では、女性作家による作品をピックアップします。

昨年1月、女性に対する差別発言を繰り返すトランプ米大統領に抗議する人たちが、「ウィメンズ・マーチ」をアメリカだけでなく世界各地で繰り広げました。またハリウッドから広がったセクハラや性暴力の告発など、女性の権利をめぐる動きに注目が集まり、「フェミニズム」という言葉が再びクローズアップされた1年でした。

美術の世界でフェミニズムへの関心が顕著に見られたのは1960年代後半から80年代にかけての主に欧米においてです。日本においても1990年代に欧米のフェミニズム・アートの紹介や研究の翻訳が盛んになり、女性作家に焦点を当てた展覧会が開催され、美術館で作品が収集されるようになりました。

当館のコレクションにも女性作家による作品が含まれていますが、全作家数の10パーセントにも満たない割合です。本特集では、これまでに収集してきた女性作家による作品の中から約3分の2の作家を取り上げて振り返るとともに、「コレクション・ハイライト」での男性作家作品と対比しつつご覧いただきます。

【出品作家】(展示順・予定)

◎コレクション・ハイライト

マルセル・デュシャン、ジャン・アルプ、アルベルト・ジャコメッティ、ヘンリー・ムーア、カレル・アベル、レオン・ゴラブ、工藤哲巳、イヴ・クライン、中西夏之、高松次郎、荒川修作、三木富雄、白髪一雄、元永定正、篠原有司男、ロバート・ラウシェンバーク、フランク・ステラ、ドナルド・ジャッド、河原温

◎特集「女たちの行進」

ルイズ・ニーヴェルソン、アグネス・マーチン、ナンシー・スペロ、田中敦子、福島秀子、内間俊子、草間彌生、荒木高子、マグダレーナ・アバカノヴィッチ、オノ・ヨーコ、石内都、シンディ・シャーマン、やなぎみわ、澤田知子、オノテラユキ、堂本右美、吉澤美香、石川順恵、日高理恵子、青木野枝

開催概要

【会期】 2018年2月24日(土)～6月17日(日)
【開館時間】 10:00-17:00 ※入場は16:30まで
【休館日】 月曜日(4月30日は除く)、5月1日(火)
【観覧料】 一般300(250)円、大学生200(150)円、
高校生・65歳以上150(100)円、中学生以下無料
※()内は30人以上の団体料金



ナンシー・スペロ
《マーシャ・ブルスキナ》(部分) 1992



草間彌生
《ザ・マン》1963



シンディ・シャーマン
《無題》1983